

5日目 9月24日

会 場： 松江市営野球場

第1試合	～3回戦～ (7回コールド)																			
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E		
邇 摩	0	0	0	0	0	2	0									2	5	2		
矢 上	0	0	0	0	7	1	1x									9	10	1		
(投手-捕手)																				
・ (邇)	品川→柳原→森 - 白石																			
・ (矢)	中村→西川→隅田 - 寺本																			
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)							
・ (邇)	白石																			
・ (矢)	佐伯																			
(審判) [球審]	大畑			〔一塁〕 瀧隆			〔二塁〕 本田			〔三塁〕 嘉藤										
(チーム成績)																				
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守	備	失	暴	ボ	逸	打	妨
(邇)	27	5	2	1	0	0	5	2	3	0		1			2	2	0	1		0
(矢)	37	10	6	1	0	0	2	6	0	2		1			1	1	0	0		0

「中盤の大量点で矢上が準々決勝へ」

試合は4回まで、両者好機を作るものの打球の方向が悪く併殺になるなどして、得点が入らずに進んだ。試合が動いたのは5回裏の矢上の攻撃で、8番秋田がセフティーバントを成功させると、盗塁と安打で1死2・3塁とすると、2番西川の打席中に暴投2つで2点を奪う。攻撃の手を休めない矢上は、四球と2塁打で1死2・3塁にすると、邇摩は2番手の柳原に継投する。柳原の立ち上がり、4番中根が力の無い飛球を放つとレフト前に落ちる適時打となり2点を追加した。更に、8番秋田と適時打や野選などで、この回一挙7得点で試合を決めた。

邇摩は矢上2番手の西川を攻め、3番白石の中越の適時2塁打、4番竹下のライトへの適時打で2点返した。しかし、邇摩は投手陣が踏ん張り切れず6・7回にも矢上に得点を許し、結局7回コールドで矢上が勝利し準々決勝へ駒を進めた。

